

としょかんだより 号

こんげつ せつぶん
今月は節分にバレンタインデー、そして6年生を送る会とおおいそが
がくねんさいご つき
学年最後の月をむかえるまえに、やりのこしがないうごごしましようね。

きせつのおはなし

- 「**サンタクロースが二月にやってきた**」今江祥智：文、あべ弘士：絵、文研出版 1・2年～

ふゆ
冬になったどうぶつえんのすみっこ。あったかいお部屋でライオンのかぞくがお話をしてい
と、
ドッシンガラガラ！ 大きな音がします。なんとそこには、サンタさんが立っていました。

- 「**すみ鬼にげた**」岩城範枝：作、松村公嗣：絵、福音館書店 3・4年～

やすはちちのあとをつつぐために、たいくみなら なら とうしょうだいじ
やすは父のあとを継ぐために、大工見習いとして奈良の唐招提寺にやってきました。
すると、しずかなお堂から「うおーんうおーん」と泣く声がします。



- 「**魔法使いのチョコレート・ケーキ**」マーガレット・マーヒー：作、シャーリー・ヒューズ：画、
いしいももこ やく ふういんかんしよてん
石井桃子：訳、福音館書店 5・6年～

まほうつか
魔法使いのおじいさんは、魔法の腕はいまいちでしたが、チョコレート・ケーキ作りはとて
よ
腕をしていました。ですが、それを食べてくれる友達はいません。そこで……？

ほん 本からのまめちしき



あまくておいしいチョコレート。

チョコレートのもとになるものは、カカオという植物の種「カカオ豆」です。おもに、ア
フリカや中南米などの、あたたかいところで育ちます。

日本でもカカオを育てているところもありますが、ほとんどは外国からカカオを買って、
工場
でチョコレートを作っています。

さて！ ここでクイズ。日本ではじめて、食べるチョコレートが売られたのは、いまから
なんねんまえ
何年前ででしょうか？ 答えはうらがわにあります。

①106年前

②146年前

③246年前

はじめて食べるチョコレートを販売したところは、東京の米津風月堂。いまでも続いている、
でんとう
伝統あるお菓子屋さんです。そして、みなさんが知っている板チョコをはじめて作ったところ
は、もりながせい
森永製菓でした。

ちなみに、板チョコレート1まいに、カカオ豆が30粒くらい入っているそうですよ。

参考図書：「チョコレートがとどくまで」沢井まみ、岩崎書店、1998

「改訂新版 辞書びきえほん もののはじまり」陰山英男、ひかりのくに、2018

◆あたらしくはいった本リスト◆ 卒業生向けの本が中心に入りました！

！「本の名まえ」書いた人、出版社、の順番で紹介します！（縦の並びはNDC別です）

「ハローキティの“ニーチェ”」ニーチェ/原著、朝日文庫編集部/編、朝日新聞出版

「いのちのすくいかた 捨てられた子犬クウちゃん」児玉小枝/写真・文、集英社

「ことばのかたち」おーなり由子/著、講談社

「みるみる上達！スポーツ練習メニュー 野球①」池田浩二/監修、ポプラ社

「すごいグラウンドの育て方 阪神甲子園球場のひみつ」金沢健司/著、Gakken

「旅猫レポート」有川浩/著、講談社

「図書館戦争」有川浩/著、KADOKAWA

「54字の物語」氏田雄介/作、PHP研究所

「放課後の文章教室」小手鞠るい/著、偕成社

「きみの友だち」重松清/著、新潮社

「坊ちゃん」夏目漱石/著、講談社

「こんにちは！わたしのえ」はたこうしろう/作、ほるぷ出版

「ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー」プレイティみかこ/著、新潮社

「さばの缶づめ、宇宙へいく」小坂康之・林公代/作、イースト・プレス

「綱渡りの男」モーディカイ・ガースティン/作、川本三郎/訳、小峰書店

「小さいことにくよくよするな！しょせん、すべては小さなこと」リチャード・カールソン/著、小沢瑞穂/訳、サンマーク出版

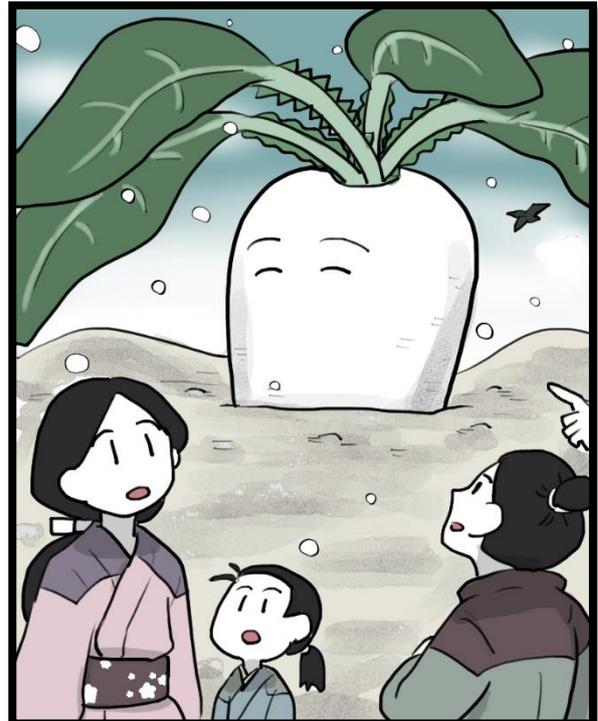
「たったひとりのあなたへ」エイミー・リード/文、マット・フェラン/絵、さくまゆみこ/訳、光村教育図書

さがしてみよう！



わかるかな？ おはなしまちがいさがし！

今月のテーマは、冬の野菜！ ということで、冬の旬野菜、大根がでてくる日本の昔話「だいこんどのむかし」から問題です。右と左で、ちがうところが5つあります。



わかるかな？ こたえあわせは来月号で！

本からのまめちしき こたえ：②146年前

たべるチョコレートは1878年（明治11年）に、はじめて日本で販売されました！